

株式会社 桧家ホールディングス
2013年12月期
決算説明会

代表取締役社長 近藤 昭

2014年2月24日
日本証券アナリスト協会
第1セミナールーム

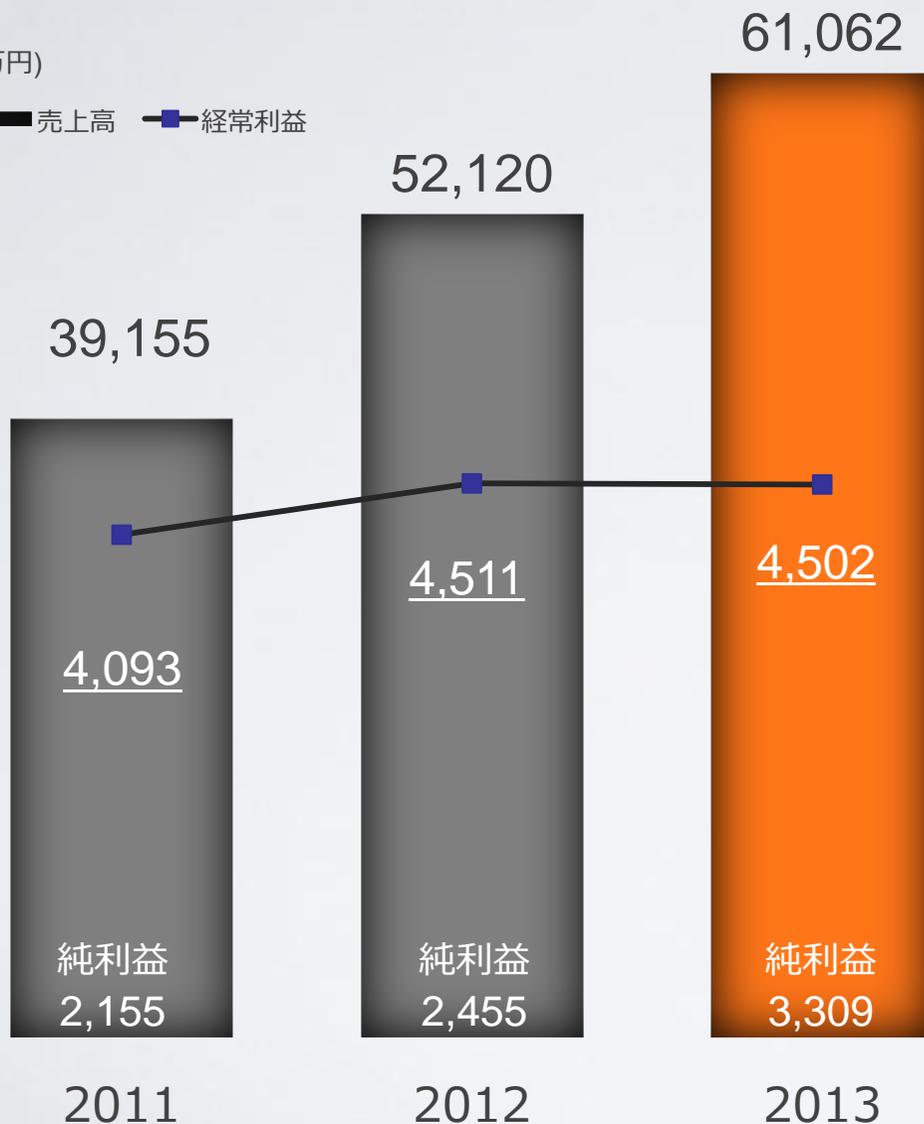
連結業績

HINOKIYA

(前期比)

(単位:百万円)

■売上高 ■経常利益



売上高

+17.2%
(+8,942百万円)

粗利益

+9.4%
(+1,338百万円)

経常利益

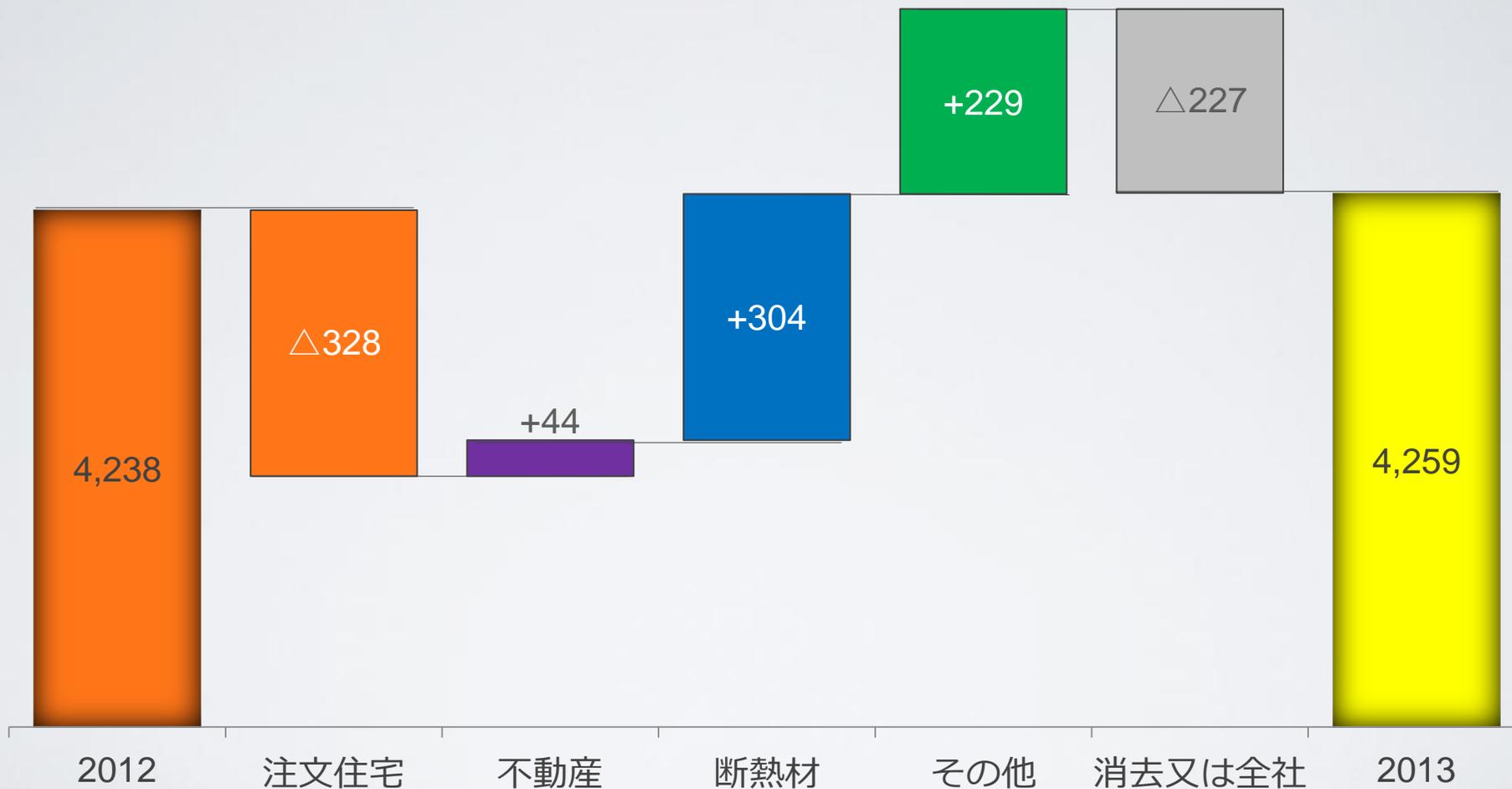
△0.2%
(△8百万円)

純利益

+34.8%
(+854百万円)

営業利益増減実績(前期比)

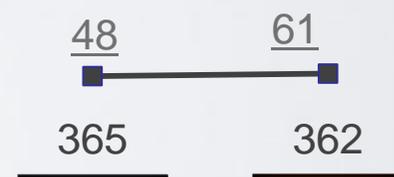
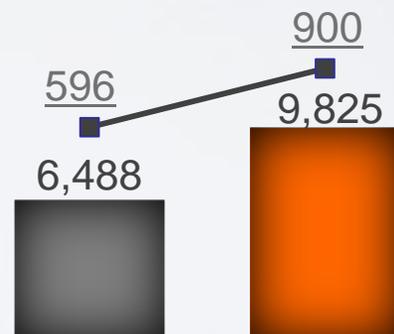
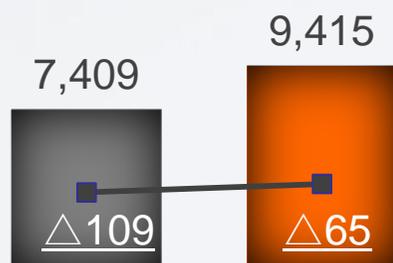
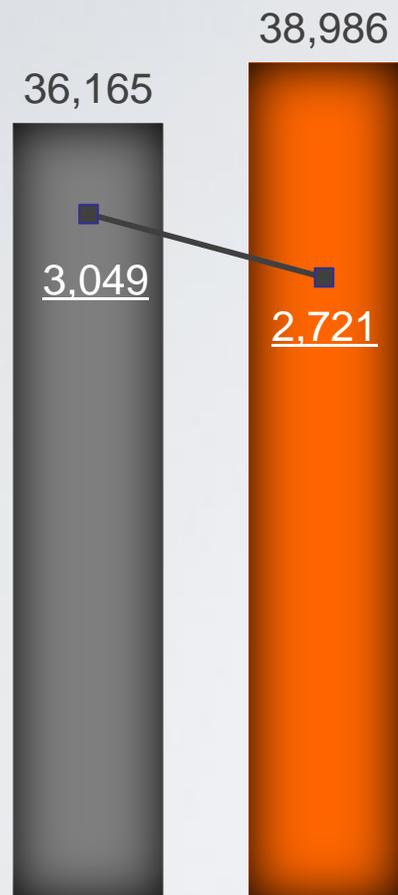
HINOKIYA



セグメント別損益



(単位:百万円)



	売上高		営業利益	
	前期差	前期比	前期差	前期比
注文住宅	+2,820	+7.8%	△328	△10.8%
不動産	+2,005	+27.1%	+44	-
断熱材	+3,336	+51.4%	+304	+51.0%
不動産賃貸	△2	△0.8%	+13	+27.2%

■ 売上高
■ 営業利益

2012 2013

注文住宅事業

2012 2013

不動産事業

2012 2013

断熱材事業

2012 2013

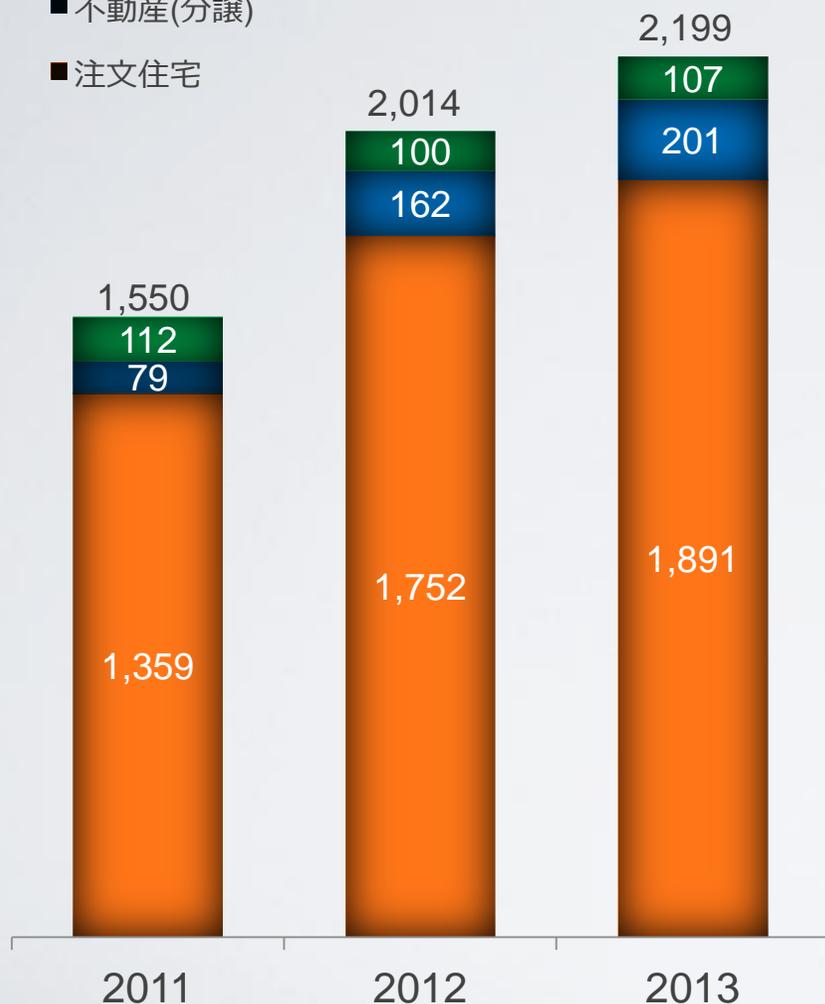
不動産賃貸事業

四半期毎の連結損益推移



販売棟数 & 販売金額

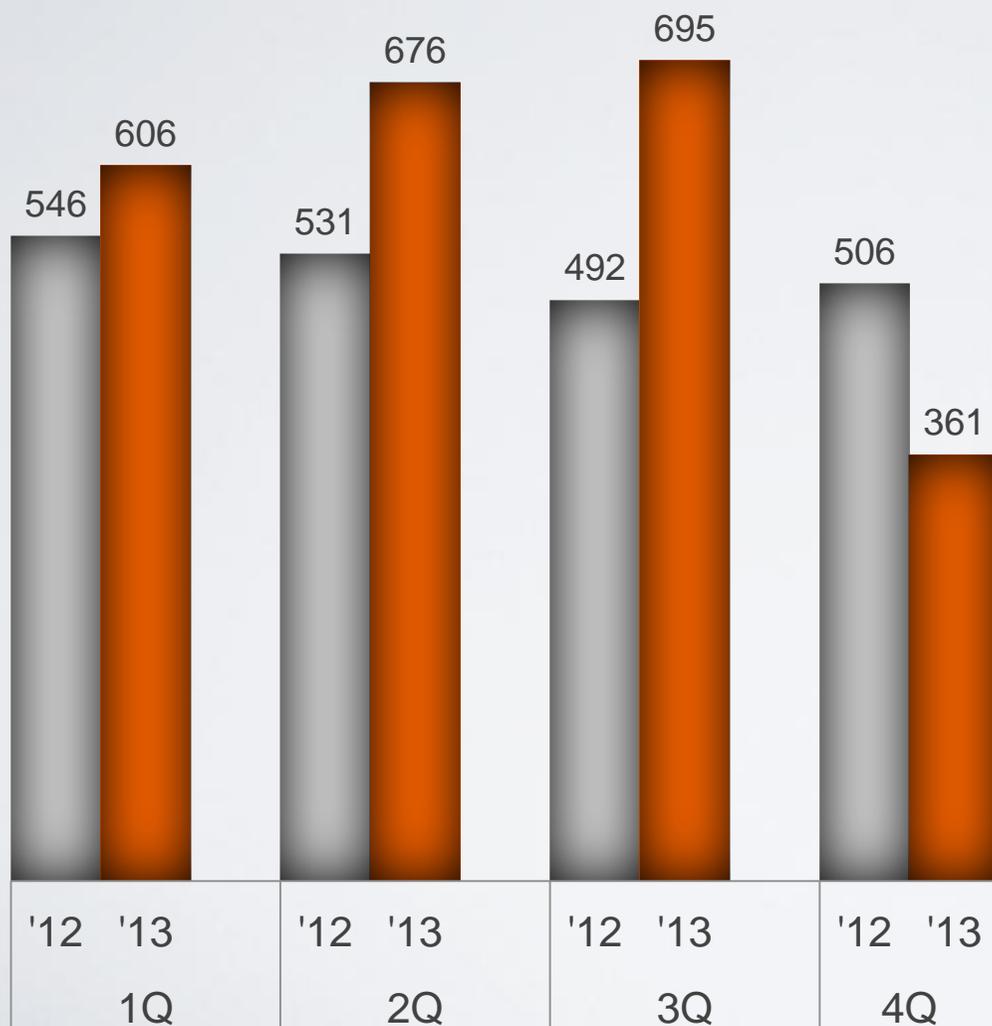
- その他1(戸建賃貸住宅)
- 不動産(分譲)
- 注文住宅



	販売棟数		販売金額			
	前期差	前期比	2012	2013	前期差	前期比
注文住宅	+139	+7.9%	36,165	38,986	+2,820	+7.8%
不動産(分譲)	+39	+24.1%	7,409	9,415	+2,005	+27.1%
断熱材			6,488	9,825	+3,143	+51.4%
不動産賃貸			287	290	+3	+1.2%
その他(戸建賃貸)	+7	+7.0%	1,224	1,406	+182	+14.9%

※グラフのデータは、内部取引相殺後の棟数

受注棟数推移(注文住宅)



2013年	前年同期比	
	棟数	伸び率
1Q	+60	+11.0%
2Q	+145	+27.3%
3Q	+203	+41.3%
4Q	△145	-

	前期比	
	棟数	伸び率
2011	+240	+16.6%
2012	+393	+23.4%
2013	+263	+12.7%

受注棟数 2012年 2,075棟
2013年 2,338棟

注文住宅事業

売上高

- 年後半以降の業者不足による工事遅延
- 桧家住宅東北の順調な立ち上がり

⇒前期比+7.8%

粗利益率

- 職人不足に起因する外注単価上昇等

⇒ 前期比△0.4p

営業利益率

- 増税前の駆け込み需要対策としての
展示場の集中出展による販管費増を吸収しきれず

⇒前期比△1.5p

受注

- 消費税増税前の駆け込み需要(2Q,3Q)とその反動減(4Q)

⇒前期比+12.7%

不動産事業

売上高

- 新商品投入と在庫処分等により大幅増

⇒前期比+27.1%

粗利益率 – 各営業エリアでの販売競争激化 ⇒前期比△ 1.4p

営業利益

- 3社3拠点(25期)→1社4拠点等での販管費増を増収で吸収
⇒赤字幅縮小 +44百万円改善

※のれんの減損処理(特別損失195百万円)を実施

断熱材事業

売上高

- 自社施工能力の増強等により、大幅増収

⇒前期比+51.4%

粗利益率 – 施工体制拡大による固定費増等

⇒前期比△4.5p

営業利益

- 営業体制の拡大による固定費増 を吸収

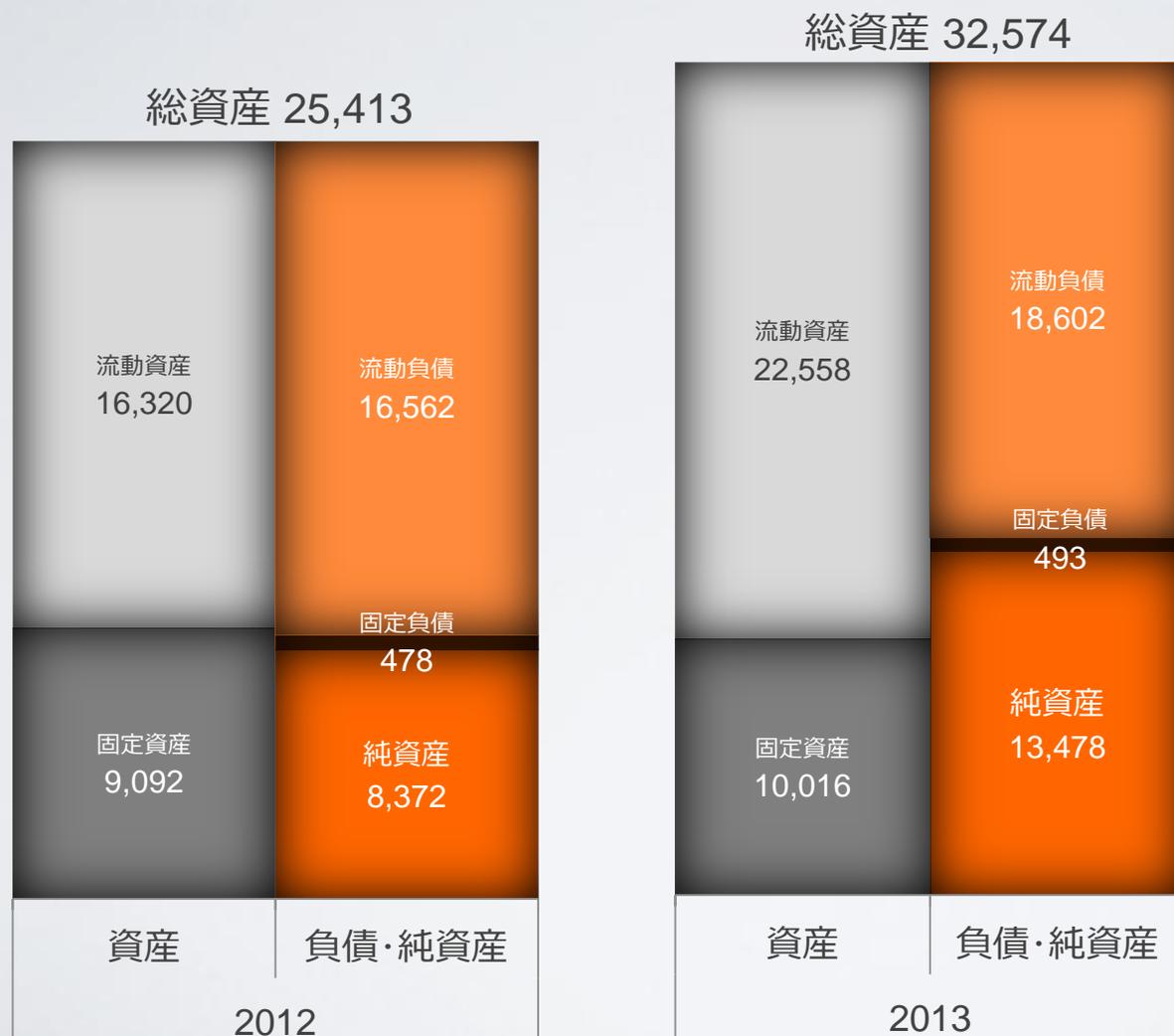
⇒前期比△ 0.3p、+51.0%

貸借対照表

HINOKIYA

(単位:百万円)

(前期末差)



<資産>

現預金	+4,107
売上債権	+838
建物&構築物	+481
投資有価証券	+659

<負債>

工事未払金	△1,068
有利子負債	△728
短期借入金	+500
長期借入金	△1,228

<純資産>

利益剰余金	+2,685
少数株主持分	+2,380

<配当> △624

[自己資本比率] 33.7% (+1.3p)

連結キャッシュフロー

HINOKIYA

(単位:百万円)



FCF:フリーキャッシュフロー

<営業CF>

税引前純利益	5,470
持分変動損益	△1,266
売上債権	△ 941
未成工事支出金	△1,154
未成工事受入金	3,006

<投資CF>

有形固定資産取得	△ 1,772
投資有価証券取得	△ 602

<有利子負債>

短期借入金	500
長期借入金	△1,228

<その他>

増資(日本アクア)	3,488
-----------	-------

(現金及び現金同等物 +4,107)

<配当支出>

総計624

[貸借対照表]

- 日本アクアの増資(3月、12月)による現預金の増加
- 支払サイト短縮による工事未払金の減少
- 工事遅延による、未成工事支出金と未成工事受入金の増加
- 投資有価証券の増加(M&A)

[キャッシュフロー]

<営業CF>

- 不動産部門の在庫積み増しによる支出増が一巡し、大幅回復
- 駆け込み需要と工事遅延による未成工事受入金の増加

<投資CF>

- 消費税増税対策の集中出展による固定資産増とM&Aで、大幅支出増



&



3月 米国HUNTSMAN社と
資本業務提携

12月 東証マザーズ上場
(証券コード1429)



2014/12期(業績予想:2/10開示)	
売上高	13,025百万円 (当期比+32.6%)
経常利益	1,333百万円 (当期比+44.1%)



企業信用力の大幅向上で、RC建築物へ本格展開

TYPE A暮らしやすさこだわった
コンパクト住宅

21~25坪

建物本体価格

640 万円~
(税抜)**TYPE B**高品質・お手頃価格
元祖ファミリー住宅

30坪

建物本体価格

880 万円~
(税抜)**TYPE C**ゆとりの住まい空間こだわった
ゆったり快適住宅

33~40坪

建物本体価格

990 万円~
(税抜)

本社: 新潟県新潟市
 設立: 1982年3月
 事業所: 新潟県、福島県、山形県
 宮城県、長野県、群馬県
 従業員数: 129名(2014年1月現在)

重複しない顧客層 (平均単価: 桧家@20百万円 v.s. 北都 @12百万円)



- 北関東エリアの深耕
- 増税後の中古住宅及び建売住宅顧客層の取り込み

介護事業

ご利用様が、安心と信頼に
抱かれて過ごせるよう、
おもてなしの心を大切に、
充実した介護体制を整えています。
ご利用者様の立場に立って生まれた
数々の創意と工夫をスタッフ一同、
ときに「家族」のような存在となって、
真心あるサービスの提供を目指しています。



保育事業

めまぐるしく変化する社会情勢、
ますます進行する少子化の波。
子どもたちを取り巻く環境が多様化する
中で、私たち大人ができることは？
未来を担う大切な子どもたちと、
そのご家族の有意義な暮らしのために、
私たちは新しいライフスタイルを
応援します。



ゆにり
悠楽里



ゆにり
悠楽里
まちだスカビュー



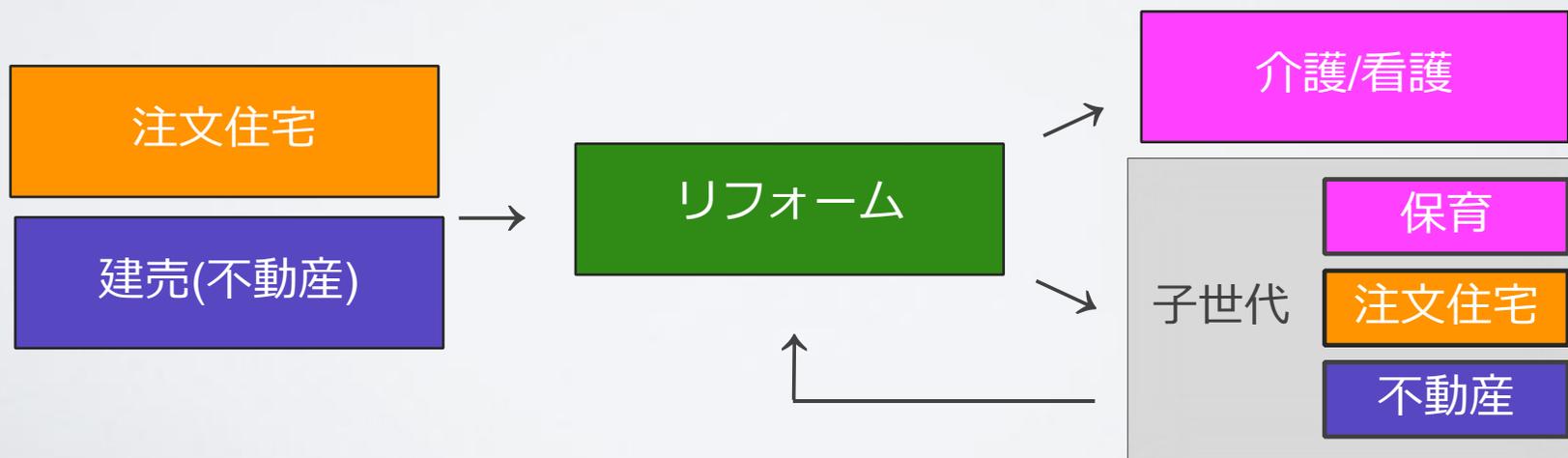
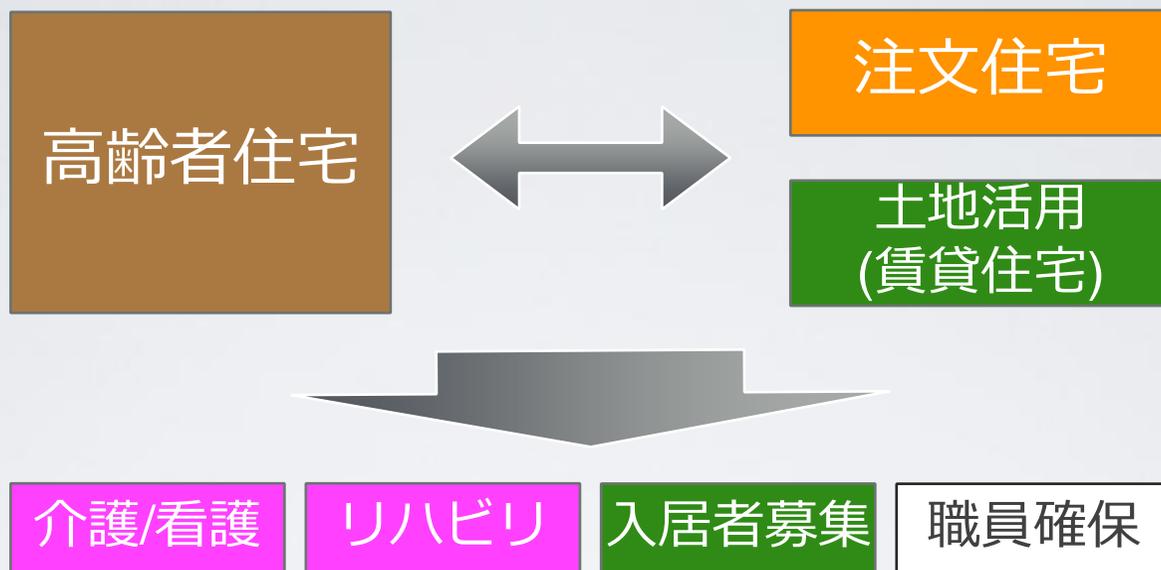
ゆらりん

本社： 東京都新宿区
 設立： 1995年2月
 事業所： 東京都・埼玉県にて、
 有料老人ホーム 5 / サ高住 1
 認可保育所 4 / 認証保育所 15
 介護ステーション 4 ほか
 従業員数： 850名(2014年1月現在)

“住”を共通項にもつ
ストック型&サービス・ビジネスへの挑戦

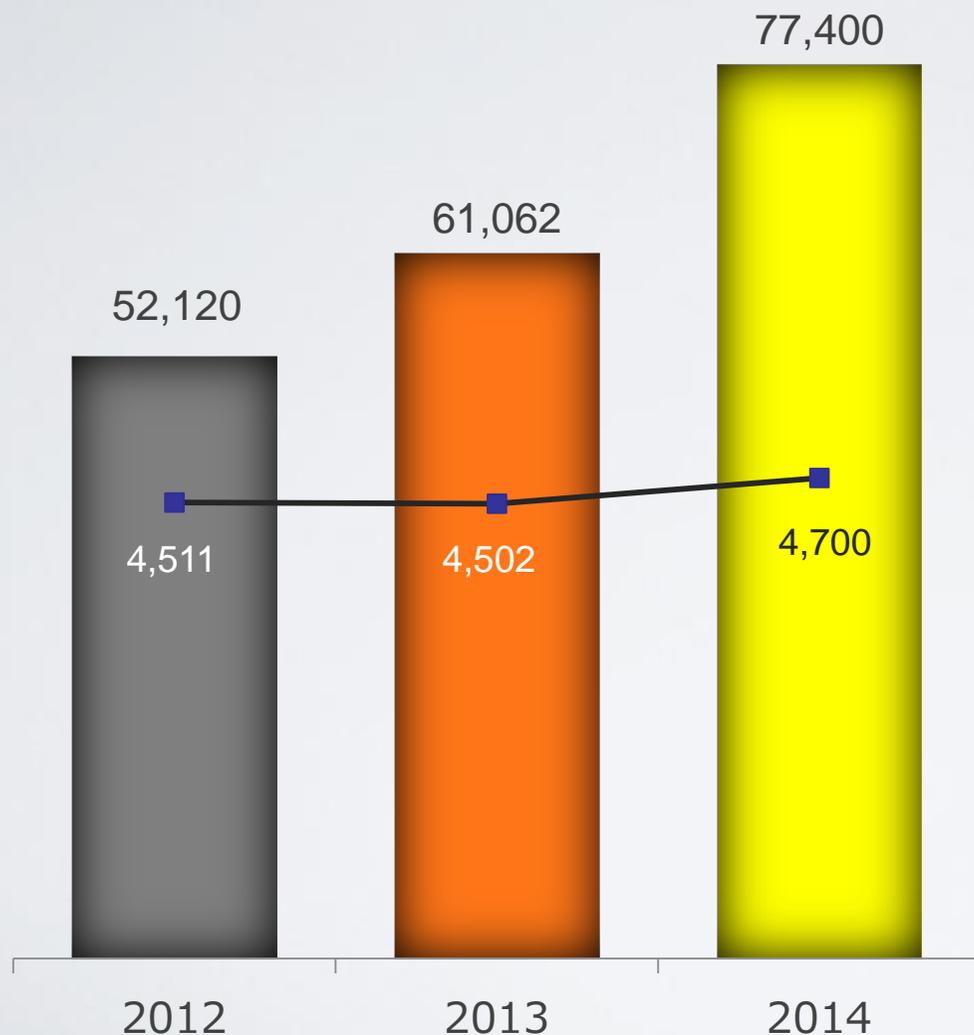
事業ミックスによるシナジー

HINOKIYA



2014年12月期 業績予想

(単位:百万円)



HINOKIYA

(前期比)

売上高

+26.8%
(+16,338百万円)

粗利益

+20.7%
(+3,238百万円)

経常利益

+ 4.4%
(+198百万円)

純利益

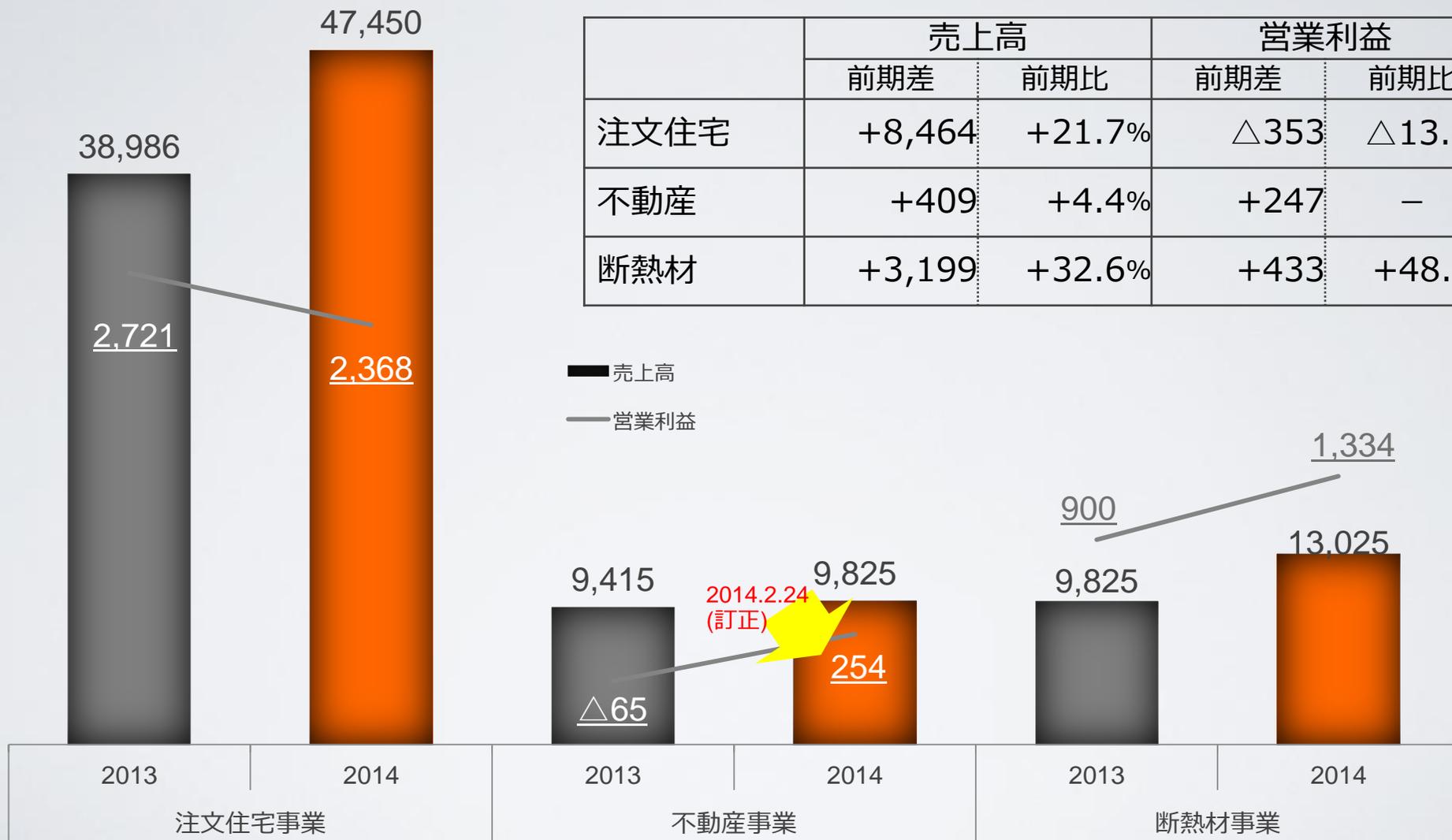
△24.5%
(△809 百万円)

2014年12月期予算(セグメント別)



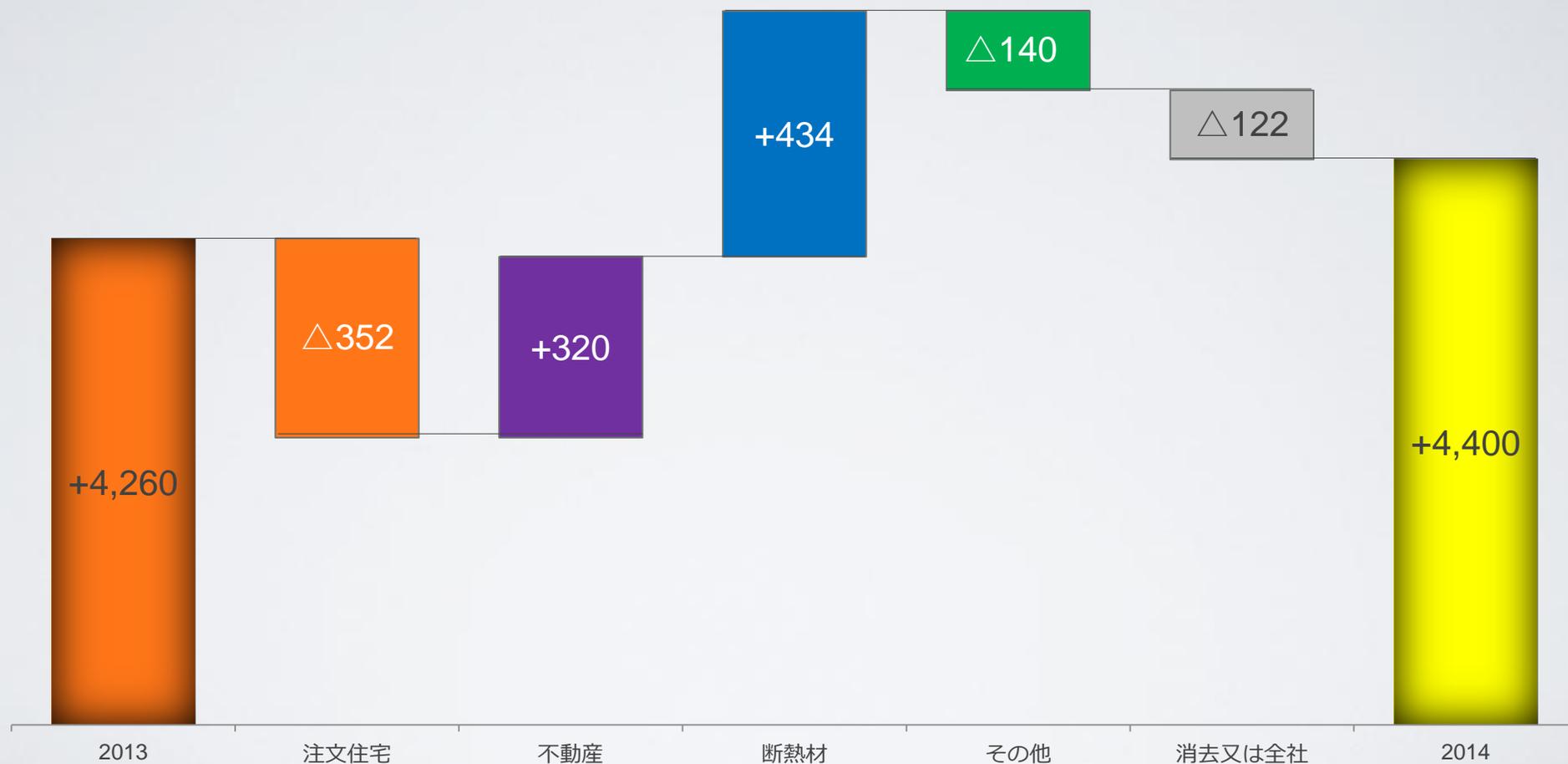
(単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	前期差	前期比	前期差	前期比
注文住宅	+8,464	+21.7%	△353	△13.0%
不動産	+409	+4.4%	+247	-
断熱材	+3,199	+32.6%	+433	+48.2%

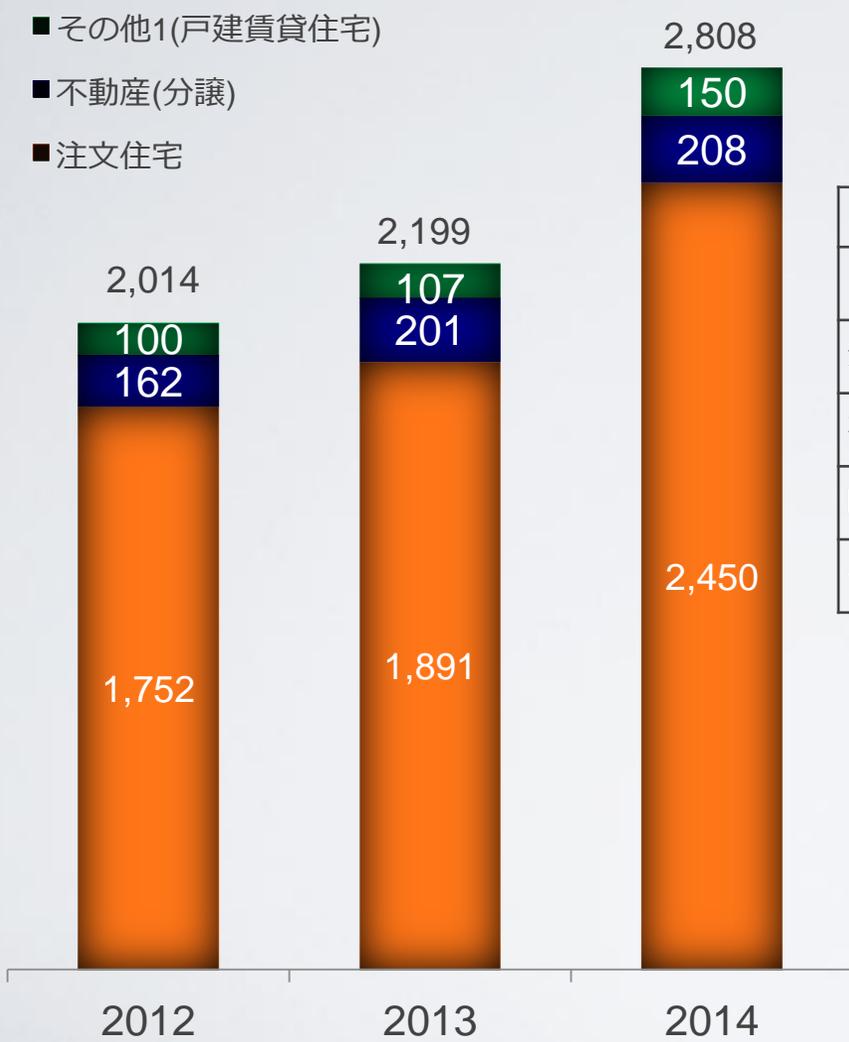


営業利益増減予想(前期比)

HINOKIYA



販売棟数 - 予算



	販売棟数		販売金額			
	前期差	前期比	2013	2014	前期差	前期比
注文住宅	+559	+29.6%	38,986	47,450	+8,464	+21.7%
不動産(分譲)	+7	+3.5%	9,415	10,695	+1,280	+13.6%
断熱材			8,886	11,723	+2,837	+31.9%
その他(戸建賃貸)	+43	+40.2%	1,406	1,917	+511	+36.4%

※グラフのデータは、内部取引相殺後の棟数

注文住宅事業

北都ハウス工業の業績取り込みと展示場出展により、

- 売上は、増収を見込むものの、
- 利益は、消費税増税後の状況が不透明なこと、展示場出展による固定費増で、減益を想定。

不動産事業

在庫回転の改善を図り、増収効果による黒字化を見込む。

2016/12期 売上高 1000億円
営業利益 100億円



今期配当予想



	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2014年予想 (2月10日発表)	—	25.00	—	25.00	50.00
前期(13/12期)	—	20.00	—	(見込)30.00 (記念配当+4.00)	(見込)50.00

前期末配当を+4円増配 (創立25周年記念配当)

配当性向 **27.1%**
(前期比 +6.6p)

直近52週の株価推移



本資料ならびにIRに関してのお問い合わせ先

担 当 : 経営企画部

所在地 : 埼玉県久喜市久喜中央1丁目1番20号

電 話 : 0480 - 26 - 1118

F A X : 0480 - 24 - 4001

E-mail : k-kikaku@hinokiya.jp

W E B : <http://www.hinokiya-holdings.jp>

投資家の皆さまへの対応は、上記の連絡先にて一括対応させて頂いております。弊社子会社へのお問い合わせはご遠慮願います。
また、金融庁・証券取引所・弊社WEBサイト・IRイベント・マスコミ等を通じて公表している情報以外については、情報の公平性の観点から、個別にお答えしかねる場合がございます。

本資料に記載されている当社の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。